

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様一人一人に合わせた療育内容の提供ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定、療育内容等、担当指導員を中心にご利用者様に合わせた内容を考え、提供することを心がけられている。 療育のツールの充実。適宜、手作り教材用いながらご利用者様に合わせたツールを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して担当指導員を中心としながら、校舎全体での共有、検討を行っていく。
2	SNS（Instagram、ブログ）の有効活用ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 療育の様子に加え、職員の紹介や教室内部の紹介を行っている。 コンスタントなSNS掲載を行っている。 ブログを通し、空きコマ情報を共有することで、いつでも校舎の空きコマ情報を入手できる環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月開催している避難訓練の記事を掲載することで、ご利用者様への周知を行っていく。 療育時間（1時間）の流れが分かるものを掲載し、「きらり」での過ごし方のイメージが持ちやすくする。
3	他機関との横のつながりがある。	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所への定期的な報告を実施している。 ご利用者様のご希望に合わせ、園や学校への連携を行っている。 行政との関わりを積極的に行い、制度面での案内ができるよう準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した他機関との関わりを積極的に行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援室、面談の場における環境面 <ul style="list-style-type: none"> パーテーションで区切らため、周囲の物音が聞こえやすい。 面談時の話声が聞こえてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションを利用した個々に合わせた環境設定ができてはいるが、同時に周囲の物音が聞こえやすい環境になっている。 面談室以外の場所で面談等を行う事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育においては、席の配置等、可能な範囲で集中しやすい環境づくりを工夫する。 保護者様とお話しをする際は、個室を利用する。また、療育後のFBの際は、他者との距離を話す等の可能な限りでの環境設定を行う。
2	小集団療育の機会が少ない。 ペアレントトレーニングの機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 枠が個別療育で埋まっており、限られた日程中での調整となってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇等、小集団療育の場を設けていく。その中で保護者様向けの勉強会なども設定していく。 ペア学習を積極的に行っていく。
3	教室が2階にあり、階段を使う必要がある。 車椅子等の利用が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ビル内に入っていることから、階段以外の設備は難しさがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様スリッパの見直し。 見学、体験時に校舎設備を説明し、ご理解していただいた上でのご案内とする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2				公表日	2025年 2月 15日		
						利用児童数	31名	回収数	24
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2	1	0	・もう少し広い場所が良い。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	1	・昨年に比べ、職員の数が増えていて余裕があると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	4	1	1	・廊下の扉の仕切りがパーテーションのみなので、どうしても障がひになり、集中力が続かない事があると感じる。 ・建物の構造上仕方がないが、階段しかないためこどもにとっては上がりにくい。エレベーターがあると良い。	・お子様に合わせ個室の利用等、集中しやすい環境設定を検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	0	・部屋自体は清潔で心地よく過ごせる場所となっている。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	1	・定期的に専門的支援を受ける日を設けていただけるとなお良い。	・複数担当制等を通し、専門的支援を受けられるよう調整の検討をさせていただきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	2			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	2			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	3	・通常のクラス以外は受けた事がなく、良く分からない。	・ご希望によって家族支援、移行支援を行わせていただきます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	0	・毎週遊びや取り組み内容を微修正していただけており、とても良い。		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	5	6	3			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	1	0	・保育園や発達支援センターと連携をとってくださり、大変頼りにしている。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	4	3	3			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23	1	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	0	2	・定期のクラス後にフィードバックの時間がある。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	1	・先生方からのアドバイスや気持ちはとてもためになる。 ・こどものエピソードや親の悩みにもいつも耳を傾けていただいている。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	7	4	3	10	・家族間の交流については、実施されていると思いますが、まだ参加していない。 ・きょうだいのことは気にかけてくださっている。 ・実際に参加できていないだけなのか、実施できているのか良く知らない。	・小集団療育やイベントを通し、保護者様の交流の場を設けています。今後もより幅広く場を設けられるよう検討、調整をしていきたいと思っています。同時により多くのご利用者様に参加、周知できるよう発信をしていきたいと思っています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	1	・個室であったり、隣のスペースで話されていることが聞こえることがある。子供の声が聞こえるのは良いが、保護者の話はどうなのかと思う時がある。	・保護者様とお話しをする場合は、面談室（支援室とは少し距離がある空間）を積極的に活用していきたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	1	5	・マニュアルがあるのは知っているが、訓練が行われているかは分からない。	・定期的に研修や訓練を実施しています。特に訓練の様子等は、SNSを通じ他周知を目指していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1	0	0	・今日が通所の日だと分かる「早く行く！」と前のめりになっている。 ・毎週楽しみにしている。「きらり」の玄関が見えると大喜びしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	0	0	・通所してから親自身もとても勉強させてもらい、本当に感謝している。 ・いつも楽しく通っている。毎回ちゃんと課題に取り組んでいて、楽しそうな声が聞こえていると思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	0	・親が平日の日に発達支援センターへの連絡が困難であることを言わずとも察し連絡をしてくださり、本当に感謝している。 ・子どものありのままの姿を受け入れていただき、楽しく学ぶことができ、感謝している。 ・まだできないと思っていたことが出来るんだ！家でやってみよう！と思える事が増えているので、様々なことをやらせてもらっているのはすごく助かるし、成長を感じる。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校第2	公表日	2025年 2月 15日
------	-----------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・保護者様の待機場所（見学場所）の見やすさと安全面を配慮し、工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		・教室が2階にあるため、バリアフリーの環境が整っていない。（階段のみ）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・人数や活動内容に合わせて部屋の広さを変えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・支援室のドアは、使用していない時は常に開けています。 ・ご利用者様に合わせた場の提供ができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・複数担当制のため、細かい打ち合わせを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・管理者が個別で面談する時間を設けているため、1人1人の意見が言いやすい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・支援記録は、指導員同士が閲覧可能。 ・SNS（インスタグラム）で支援内容を紹介している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・ご利用者様に合わせた個別支援計画が作成できている。 ・担当指導員と児発管が協議し、個別支援計画の作成ができています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・担当指導員が主で立案を行っているが、適宜相談等、校舎全体で行うことができています。 ・複数担当制の場合は、より積極的にできています。 ・特にイベント、小集団療育、体験時は、複数の指導員で立案を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		・朝のミーティングで支援室や動きの確認をすることで、チームで連携して動くことができている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		・支援記録を通しての共有を行っている。 (視覚的に共有することで情報の取り違いを防いでいる。) ・複数担当同士でお子さんの変化に気づいた点は適宜共有するようにしている。 ・イベントや小集団療育時は打ち合わせと振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		・ご利用者様の様子を毎回記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		・支援内容等の共有は必ず行っているわけではないが、各機関同士の連携はご希望によって行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		・ご利用者様のご希望に応じて行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		・相談支援事業所へ事業所報告書の提出等の関わりを積極的に行っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・外部の方向けイベント（ふれあいスペース）を行い、地域のお子様や保護者様と活動をする機会を設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		・フィードバックの時間を取れないご家庭については、後日お話しする機会を別途で調整している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・イベントや小集団療育時に保護者様グループを実施し、話し合える機会を設けている。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・支援後に行うフィードバックの時間を設けている。そこで、保護者様よりお話しを伺っている。 ・児発管が適宜面談や相談等の役割を担っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・Instagramやブログを通じ、校舎からのお知らせを掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・ふれあいスペース（外部の方向けイベント）を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・アセスメントシートを通し、把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食べ物の提供を行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・必要に応じて行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修への参加、報告会の実施をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			